

学校教育目標	一人一人が輝く永田台				
	◆基礎基本を身に付け、自ら問題解決に取り組みながら学び続ける力を育てます。(知) ◆自分の個性に気付き、他者と豊かに関わり合いながら、共に生きる力を育てます。(徳) ◆食や運動への関心を高め、心身の健康を保持増進しようとする力を育てます。(体) ◆地域とのつながりを大切にしながら、夢や目標の実現に向かう力を育てます。(公) ◆グローバルな視野をもち、持続可能な社会のつくりてとして身近なところから行動しようとする力を育てます。(開)				
学校概要	創立 50 周年	学校長 松本 久美子	副校長 藤澤 達	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 6
	児童生徒数: 407 人	主な関係校: 永田小学校・永田中学校			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	〇〇中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈問題発見・解決能力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉	永田中学校 永田小学校 永田台小学校	①挨拶を通してつながりを意識する子 ②自分も友達も大切にできる子 ③進んで学習に取り組む子 ①一人一人も子どもも挨拶ができる地域になるため、職員が率先してあいさつに取り組む。小中合同での挨拶運動を行う。あいさつの意味や価値について伝える。 ②一安心感や所属意識が感じられる楽しい学校づくりに努める。多様な考えに触れ、違いを認め合える関係性を築けるようにする。ブロックでの情報共有と実態把握に年間を通して取り組む。 ③一自分の思いをもち自分の可能性に気付ける魅力的な授業づくりに取り組む。小中合同授業交流会を通して実態把握と授業改善を図る。

中期取組目標	①自ら問いを立て、学び続ける力を育てるために、授業改善に努めます。 1年目は、子どもの問いを大切にし、安心して自分の考えや思いを表現できる授業づくりを推進します。 2年目は、実感や体験を伴った対話のある学び合いを通して、身についた力を活用する力を育てます。 3年目は、多様な方法で試行錯誤して問題解決を繰り返しながら、考え続けることができるようになります。 ②多様性を尊重し他者とのつながりを大切にしながら、地域の一人としての自覚と参画意識を育てます。 ・共感的に理解したり、合意形成を行ったりしながら、自分のまちを愛し、住み続けられるまちの創り手として行動できるようにします。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①各教科領域で育成を目指す資質・能力を明確にし、本時のめあて、振り返りから次時の学びをつなぎ、子ども主体の学びのサイクルを意識した授業づくりを進めていく。②重点研究テーマを「夢中になって学び続ける子どもの育成」とし、生活科と総合を軸とした授業づくりに取り組み、学級の実態に応じた課題を設定し、探究的学びを深められるようにする。
担当 A部会	
徳 児童指導	①多様な課題について、全体で共通理解して未然防止、早期発見に努める。②校内ケース会議を実施し、外部機関やSC・SSWとも連携しながら組織的に対応する。
担当 C部会	
体 健康教育	①自身の健康状態を把握し、正しい知識のもとに体を動かす楽しさを感じ、日常につなげる姿を目指す。②教職員が新型コロナウイルス感染症についての正しい知識を理解し、児童に対応する。心のケアを意識しながら、安全・安心な学校生活が送れるように配慮する。③保健委員会を中心に児童が主体的に健康について考え実践できるようにする。
担当 C部会・体育部	
公 開 ESD	①学校教育活動が、教室の中だけで終わるのではなく、地域や社会とつながる教育活動の工夫をしていくことで、児童が地域の人の思いや考えに気付くことができるようにする。②各教科の学習や児童会活動等で、SDGsにつながる学習や活動を展開し、児童がSDGsを身近に感じることができるようにする。
担当 A部会	
いじめへの対応	①「いじめ防止基本方針」等を活用し、職員一人一人の危機管理意識を高めながら、未然防止、早期発見・早期解決に向け取り組む。②発生時には、いじめ防止対策委員会を設置し、迅速かつ児童・保護者に寄り添った対応ができるよう組織的に対応する。
担当 C部会	
人材育成・組織運営(働き方)	①メンターチーム、校内初任研コーディネーターを中心に意図的、計画的、継続的に校内の人材育成を図る。②職員が互いのよさを認め合い支え合うことで充実した働き方につなげる。③部長を中心として見通しをもって活動計画・分担を行い、職員も見通しをもって業務に臨むことができるような企画・立案に努める。
担当 チームリーダー・教務	
地域学校協働活動	①地域学校協働本部・保護者を中心に、みまもりサポーターの募集を継続し、子どもたちが安心して過ごせる地域づくり、地域の防犯力向上の充実を図る。②地域学校協働本部が発足したグリーンクラブ(学校園での地域の野菜作り)の活動をとおして、児童と職員が積極的に参加し、地域とのつながりを深める。③地域、保護者、学校が目標を共有し、教育活動を展開していくため、学校運営協議会、地域連携協働本部と連携し、地域の方の参画をさらに推進していく。
担当 B部会・教務	
特別支援教育	①個別支援学級の児童理解を深め、互いが認め合い、支え合う教育活動を実践していく。②ばわいあつが教室や少人数教室・国際教室など、個の学習を支援するために、ユニバーサルデザインを意識した場作り、授業等の取り組みを継続する。③スタンダードをもとに全ての職員が共通した支援・指示を行い、児童が「安心して」過ごせる環境を作る。
担当 C部会	
自分づくり教育	①身近で体験的に学ぶ機会を積極的に設け、安心して自分の考えや思いを表現しながら、一人ひとりが自己肯定感を高めるようにする。②「自分づくりパスポート」を活用し、自己の変容や成長に気付き、主体的に学ぼうとする意欲を高める。
担当 A部会・特別活動	
GIGAスクール構想	①情報教育で育む資質・能力の体系表をもとに、各学年で育成する能力を明確にする。②情報教育全体計画を策定し、システムを意識した指導ができるようにする。③情報リテラシーに重点をおいた研修を行い、各学年に応じた指導の工夫のための学習計画を作成する。
担当 B部会・ICT	